

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
国語	書写		東京書籍

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱 （「知識・技能」の習得、 「思考力・判断力・表現力 等」の育成、「学びに向か う力・人間性等」の涵養） をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年にまとめのページが位置付き、めあてをもって取り組んだり、既習事項を見直しながらまとめをしたりすることができるようよく工夫されている。また「書写のかぎ」を位置付け、基礎基本が確実に身につくよう、よく工夫されている。</li> </ul>
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生では鉛筆の持ち方や書写の基本的な運筆練習ができるよう、細かくやじるしが示されており、リズムカルな標語で正しい鉛筆の動かし方を身に付けられるよう配慮してある。</li> </ul>
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」「生活に生かそう」の学習過程が明確で、児童の気付きや対話が生まれるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「文学といっしょに」として、ふるさとや伝統文化に目が向けられるよう、全学年において配慮されている。</li> </ul>
	(2) ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書く姿勢や筆記具の持ち方、水書を用いた学習、毛筆で教材文を書いている動画など、151のQRコンテンツがあり、課題設定や振り返りを効果的に行うことができるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他教科と関連する箇所には、全学年計36ヶ所にリンクマークが明示されており、児童が他教科で活用することを意識できるよう配慮されている。</li> <li>・ 水書用紙が1、2年生に添付されている。低学年の硬筆中心の教科書は書き込み欄が多く、様々な練習ができる。</li> </ul>
3	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の厚み、重量、大きさにおいて児童の負担にならないよう配慮されている。</li> </ul>
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右利きだけでなく、左利きの写真や動画が用意されており、左利きの児童への配慮がされている。</li> </ul>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年において、考えたいくなるようなクイズ形式の練習問題があり、楽しみながら学習できるよう配慮されている。</li> </ul>

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
国語	書写		教育出版

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「適切に運筆する能力」を身に付け、全ての教科で生かせるようにするため、学習のプロセスを明確に示し、児童が学びたくなるような工夫がされている。</li> <li>・3年より「ここが大切」で学習のポイントが示され、整った字を書くために気を付けるといいことを、児童が理解できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、姿勢や鉛筆、筆の持ち方などについて写真や注意点が示されており、正しい姿勢が確実に身につくよう配慮がされている。</li> <li>・横画に関して3年生の学習を4年生でも確認できるよう配慮されている。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて」が低学年の場合はリンゴの下に、3年生以上では青字で示されている。また、3年生以上では「考えよう」「ここが大切」など、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方や俳句、文字の成り立ちなど、30ヵ所以上で日本の伝統文化について幅広く位置付けられており、全学年に配置されている。</li> </ul>
	(2)ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びリンクから、動画や資料などを見られるようになっており、筆遣いや資料などを児童が確認できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レツトライ」には、書写で学習したことと生活の場面をつなぐ具体例が多様に示されており、児童が書写の学びを他の学習や生活の中で生かすことができるよう、よく配慮されている。</li> <li>・1、2年生の教科書には水書用紙が付いていて、児童が文字を書く時の力の入れ方を実感できるように工夫されている。</li> </ul>
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の厚み、重量、大きさにおいて児童の負担にならないよう、配慮されている。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆の手本は、朱色と灰色の2色を使い、筆圧に合わせて3段階で示されている。さらに、朱書きで穂先の動きと点画のつながりが示されており、児童が運筆を意識して書けるようよく配慮されている。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻末で、手書きによる2学年分の漢字配当表が取り上げられており、国語と関連して学習できるよう、配慮してある。</li> </ul>

教科	種目	<b>意見書</b>	発行者
国語	書写		光村図書

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生以上に「たいせつ」が位置付けられ、学習のポイントが一目で分かり、児童が基礎基本の定着を図れるようよく工夫されている。</li> <li>・1年巻頭に「しよしやすたーとぶつく」、3年巻頭に「毛筆スタートブック」が設けられており、硬筆・毛筆学習の入門期における基本を網羅することができるようによく配慮されている。</li> </ul>
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生では「書写ブック」があり、6年間で学習する書写の要素が1冊にまとめられており、他教科や日常生活に生かせる工夫がよくなされている。</li> </ul>
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程が示されており、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるようよく配慮されている。</li> <li>・巻末の「たいせつ」のまとめのページのQRコードから、全学年までの「たいせつ」を見ることができ、児童が必要に応じて情報を自分で得ることができるよう、よく配慮されている。</li> </ul>
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に「ことば」の教材を取り入れ、日常の詩や俳句、物語、ことわざなどを視写し、日本語を味わうことができるようよく工夫されている。</li> </ul>
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコンテンツが多彩であり、動画、写真、補充教材などをみることができ、児童がポイントをつかんで練習に生かせるよう工夫されている。</li> </ul>
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年の巻末に水書用紙が付属されており、毛筆へのつながりをもたせている。</li> </ul>
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B5版になっており、ページ数や重量は適切で、児童が持ち運んだり日常生活で生かしたりできるよう、工夫されている。</li> </ul>
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名、教材名や「たいせつ」にはユニバーサルデザイン書体が使用されており、児童が読みやすいよう、よく配慮されている。</li> <li>・毛筆の手本となる字は左ページに大きく書かれており、位置や大きさを児童が捉えやすいよう工夫されている。</li> </ul>
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上の教科書の裏表紙には、書写にかかわるSDGsが写真で示されたり、4年生には「SDGsブック」を設けたりするなど、教科書全体を通してSDGsの達成に向けよく工夫されている。</li> </ul>